

大曲工センバツ決定



発行所 秋田魁新報社
〒010-8601
秋田市山王臨海町1番1号
©秋田魁新報社 2015年

号外



春夏通じて初の甲子園出場が決まり、笑顔で万歳する大曲工の選手ら—23日午後3時19分

大曲工の沿革

1962(昭和37)年4月、現在の大仙市高梨に開校し、64年同市大曲に移転。機械科、電気科、土木・建築科からなり、全校生徒416人(男子360、女子56)、卒業生1万1472人。校訓は「正・忍・創」。

硬式野球部は63年創部。1、2年生の部員41人。現在の3年生とOBは計718人。春季県大会優勝3回、2014年春季東北大会4強。夏の甲子園県予選4強4回。秋季県大会優勝2回14年秋季東北大会準優勝。バドミントン、ソフトテニス、陸上競技などの部活動も盛ん。ロボットの同好会は昨年8月、能代市で行われたロボット甲子園で優勝し今夏の世界大会に出場する。

春夏通じて初 悲願の甲子園

第87回選抜高校野球大会(3月21日から12日間・甲子園球場)の出場32校を決める選考委員会が23日、大阪市で開かれ、昨秋の東北大会準優勝の大曲工が選ばれた。大曲工は春夏を通じて初の甲子園出場。県南勢の選抜大会出場は1963年の大曲農以来52年ぶり。大曲工は、昨秋の県大会準々決勝で延長十回を

戦って秋田中央を振り切り、決勝で能代松陽に4-3で競り勝つなど勝負強さを発揮し、7年ぶり2度目の栄冠を手にした。

東北大会も接戦を勝ち抜いた。初戦の松島(宮城)戦は七回に追い付いて延長十回サヨナラ勝ち。準々決勝の花巻東(岩手)戦は延長十五回で引き分け、再試合も終盤ま

で競り合った末に打ち勝った。準決勝の鶴岡東(山形)戦は八回に逆転した。決勝では、同大会後に行われた明治神宮大会で全国の頂点に立った仙台育英(宮城)に打ち込まれて4-10で敗れたものの、終盤に2点を返すなど最後まで食らい付いた。

23日は、午後3時すぎに大曲工校長室の電話に大会本部から出場決定の連絡が入った。電話を取った草薨康尚校長は、グラウンドに集まった野球部員に報告。部員は、万歳や胴上げをするなどして喜びを爆発させた。

大曲工の昨秋公式戦戦績

| 【県南地区大会】 | |
|----------|---------------------------------|
| ▶1回戦 | 4-2 大曲 |
| ▶2回戦 | 12-4 大農太田 (八回コールドゲーム) |
| ▶準々決勝 | 5-0 横手清陵 |
| ▶準決勝 | 7-6 横手 (延長十回) |
| ▶決勝 | 13-7 横手城南 |
| 【県大会】 | |
| ▶2回戦 | 3-0 角館 |
| ▶準々決勝 | 5-4 秋田中央 (延長十回) |
| ▶準決勝 | 8-1 秋田商 (八回コールドゲーム) |
| ▶決勝 | 4-3 能代松陽 |
| 【東北大会】 | |
| ▶2回戦 | 3-2 松島(宮城) (延長十回) |
| ▶準々決勝 | 4-4 花巻東(岩手) (延長十五回規定により引き分け) |
| ▶再試合 | 10-6 花巻東 |
| ▶準決勝 | 4-3 鶴岡東(山形) |
| ▶決勝 | 4-10 仙台育英(宮城) |